機関紙はぁもにぃ
第 56 号
発行日　年間２回（７月・１月）
編　集　社会福祉法人
白老宏友会　法人本部
白老郡白老町川沿１丁目 553 番地１
℡（0144）85-3100
HP：http://www.shiraoi-kouyuukai.jp/

任期満了に伴い理事長が選任され茂木理事長が重任となりました

【理事長挨拶】

令和三年六月十六日に開催された理事会において、理事長に再選されましたので、就任の挨拶を申し上げます。二期四年を振り返りますと平成二十九年度に社会福祉法人制度の改革の施行時に、その準備を手掛けてきた経緯もあり、就任の機会をいただき改正の視点である経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の確保、財務規律の強化、地域における公益的な取組みの責務など組織的な理解を深めて参りました。

事業運営におきましては、入所施設を解体し、地域へと移行した入居者を支える支援の強化として白老町建設協会事務所の買い入れによる地域生活支援センターの充実を図ってきました。また、令和二年開設の民族共生象徴空間「ウポポイ」への出店は就労支援における利用者の働く場の社会参加の拡充として積極的にアプローチし出店のコンセプトを明確にして出店に辿り着いたことは大きな成果であったと同時に利用者の工賃収入の永続的な取組みと考えております。さらに法人本部隣接土地（千八百坪程）の土地を二期に分けて購入し、生活介護事業所「みらいえ」の野外活動の充実と川沿地区の地域拠点となるべく展望に向けての計画を進めております。また、利用者を支える支援者の確保は少子高齢化において急務であり求人サイトの活用、学校訪問、インターンシップ等々の新たな求人活動を実施し、働き方改革を受け「同一賃金同一労働」のガイドラインを精査し、規程の見直し改正を図り多種多様な働き方が選択できる働きやすい待遇改善にも努めて参りました。

昨年発生した新型コロナウイルス感染拡大は脅威であり、その状況には危機感をもって感染防止の徹底を継続していかなければならないと考えております。

二年後には法人設立四十周年の節目を迎えるにあたり、施設の老朽化や利用者の高齢化、医療化、職員の確保、経営の安定等、新たな課題が山積みではありますが社会の変遷を受け入れ「地域の中で普通に暮らす」を追い求めていく支援の継続を関係者共々、微力ではありますが三期目の職責を果たしたいと思いますのでご指導とご鞭撻の程よろしくお願い申し上げ就任のご挨拶とさせていただきます。

（理事長　茂木　靜）

令和３年度永年勤続表彰者

勤続 10 年　世話人　鈴木　千鶴子
世話人　大原　トミ子
世話人　荻田　良子
勤続 20 年　施設長　一間　新平
課　長　中道　康元
主　任　尾美　香
支援員　井村　洋子

【勤続表彰者代表挨拶】

平成十三年四月一日入職し早いもので二十年の月日が経過しました。

福祉制度では、平成十五年に措置から契約へ、平成十八年に障害者自立支援法が施行し三障害の一元化、平成二十五年には障害者総合支援法が施行されました。また二十年の間の大きな天災として、平成二十三年には東日本大震災、平成三十年には北海道胆振東部地震に見舞われ、そして新しい令和の時代に入り、世界的未曾有な大災害として新型コロナウイルス流行、現在も感染防止対策に取り組んでいるところであります。未だ出口が見えない状況下ではありますが、今後感染防止対策だけに限らず、高齢化や、人口の減少、それに伴うマンパワー不足等課題も多く、そうした社会情勢を背景に、今後福祉制度の変革も予測される事から、これからの福祉の理想の「かたち」を追い求め、地域の中で、時代の変化に臨機応変に適応し「利用者ニーズ」「地域共生」地域に根差した総合的支援を目指し地域と共に発展していける法人経営を目指すべく精進して参りたいと考えます。

今後ともよろしくお願いいたします。

（みらいえ施設長　一間　新平）

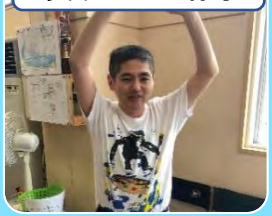
ポプリ

コロナに負けず、笑顔で今できる活動を楽しもう！

生活介護事業

～活動風景～

笑うヨガの様子



段ボールで財布が作れちゃった！

生活介護事業では 5 月に桜見学へ行きました。
白老仙台陣屋にて満開の桜を見た後、ななかまどイレンカにて自分で選んだアイスクリームやジュースを堪能しました。6 月の父の日企画では、段ボールを使用し様々なデザインのオリジナル財布を作りました。皆さん丁寧に切り貼りをしながら、とても上手に作り上げることが出来ました。
また、感染予防をしながら、室内にて体操やボーリングなど、楽しみながら体を動かす活動を行っています。

【文:生活支援員　加藤　航平】

就労継続支援 B 型事業

春季　就労学習会

ななかまど＆清掃部

パン工場＆給食部

新製品の開発や、接遇マナーを学ぶことを目的とし、春季　就労学習会を、5 月 6 日(木)～13 日(木)の期間で実施しました。
白老仙台陣屋にて桜を見ながら春に因んだ桜のケーキを食べました。今回の学習会では利用者さんの皆さんが学んだ事、感じた事の感想を用紙に記入してもらう等、より就労活動への意欲の向上と個人の課題への意識を深めました。
また、新製品の開発や接遇マナーの向上へつなげていける機会としました。
感想の中には、春を感じさせる新製品の提案が多数記入されるなど、良い勉強の機会となりました！

【文:生活支援員　川口　雅司】

次回の就労学習会は、秋をテーマに予定…⁉

次回の秋季　就労学習会では、果樹園を訪問し、見学会を行う予定です！春季　就労学習会同様に、利用者さんが就労意欲の向上、また、活気を持って活動に参加する事が出来るような機会としていきます。

【文:生活支援員　川口　雅司】

昨年度の学習会の様子

コロナに負けるな！みんなで協力して乗り越えよう！

新型コロナウイルスが感染拡大した当初は、マスクの着用や手指の消毒を忘れてしまう場面が見られましたが、日常的に声掛けを行ってきたことで、現在では、徐々に習慣化され、感染予防に繋げることが出来ています。今後も感染予防対策を十分に行い活動に取り組んでいきます。

【文:生活支援員　佐藤　宏祐】

前は苦手だったけど今は出来るようになったよ！

手指消毒を忘れずに出来るようになったよ！

手洗い・うがいが習慣になったよ！

地域生活支援センター あぷろ

あぷろではコロナ禍ではありますが、充実した生活を送る事が出来るようそれぞれが楽しめるような工夫を凝らして日々取り組んでいるところであります！！その一部を紹介します！！

第１支援課

今年のＧＷ行事も虎杖浜にありますさいとう釣堀園にてニジマス釣りやパークゴルフ、山田リビングでのタイル絵付けなどに参加しました。感染予防に心掛け、肌寒くはありましたが天候にも恵まれ、ポロトミンタラを見学したり、昼食を食べたりしながら皆さん久し振りの外出、外食を楽しまれていました。

釣り堀体験

パークゴルフ

タイル絵付け

ミンタラ見学

第２支援課

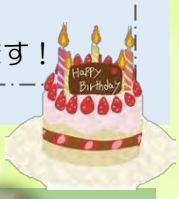
いころ・のんの合同 BBQ

肌寒さはありましたが、感染対策も十分に行った上で BBQ や天気の良い日は日向ぼっこ、桜見学、近隣の散策で気分も上々です♪ご家族の方々より健康を気遣う連絡も多くいただき、それを話題に会話も弾みました。
日頃の様子もお届けします！

日向ぼっこの様子

ご家族へもしも～し♪

誕生日をみんなでお祝い！



第３支援課

Stay Home！コロナ禍で外出自粛が余儀なくされ、グループホームにて過ごしています。テイクアウトや誕生日会・行事などホームごとに実施し、普段とは違った雰囲気や料理を堪能され、皆さんの良い笑顔が多く見られました。引き続き感染予防の徹底に努めていきたいと思います。

誕生日会や日々の様子

Aisenen
あいせんえん

新型コロナの影響で、行事の規模は縮小せざるを得ない状況ですが、宏友会でワクチン接種も順次行われているので、規制が解除され安全が確認できれば、徐々に行事内容も充実させていきます。

さくら見学

登別の川上公園に桜見学に行きました。道中の桜もきれいでしたね。お昼は白老牛のハンバーガー！

「藍」植え

活動の一環として藍染などを行うため、「藍」を育てるところから始めています。

白老の浜散策

良く晴れた暑い日に、白老の浜を散策。一足先に夏を味わった気分です。

屋内行事・Tシャツ制作

６月の屋内行事「Ｔシャツ制作」。愛泉園オリジナルデザイン40種類の中から好きなものを選んでもらい、印刷の過程を観察・実践してもらいました。次の日早速着てくる方もおり、気に入ってくれたようです。

今後の予定

8月 アイセンピック
9月 果物狩り・収穫祭
10月 ハロウィーン
12月 忘年会

《令和4年》
1月 新年会
2月 節分・ﾊﾞﾚﾝﾀｲﾝﾃﾞｰ
3月 ひな祭り・ﾎﾜｲﾄﾃﾞｰ

愛泉園の果物

左から時計回りにｼｬｲﾝﾏｽｶｯﾄ・ﾌﾞﾙｰﾍﾞﾘｰ・桃・ﾌﾟﾙｰﾝ・ｶｼｽ・ﾊｽｶｯﾌﾟ・ﾌﾟﾗﾑ。おいしく実りそうな予感！

生活介護事業所 みらいえ

インスタグラム やってます！
インスタグラムで検索
miraie2013401

新型コロナウイルス蔓延防止措置が取られているなか、利用者さま、ご父兄の皆様、職員の協力のもと安心安全な日中活動を提供する事ができております。みらいえの近況を皆様にご報告いたします！

高設栽培豊作報告！！

一昨年、設置をした高設栽培では、今年しっかりと根が張り、大粒のいちごが実りました。今年も限定品としていちご大福に加工、ななかまどでいちごの販売を行い、地域の皆様から好評をいただきました。

ファーム始動 3 年目、利用者さま一人ひとりの作業意識も培われ、今では各々が役割を担い動いています。

夏野菜の栽培では、苗の植え方や管理について勉強会を開催し、現在も生産量の向上を目指し、試行錯誤をしながら日々野菜の生育を見守っています。夏にはたくさんのナスやトマトが実りますので、是非ご賞味ください。

春を感じにまちを散策！

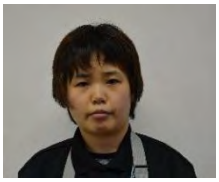
5 月上旬には、ポロト休養林、仙台陣屋など白老町内で、水芭蕉や桜見学を行いました。例年に比べると沢山の花が見られ、周囲からは「きれいだね」と感動の言葉が聞かれていました。身近な場所で春を感じる心地よい外出イベントとなりました。

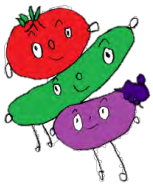
2020.11..1 採用
生活支援員　小向智美

2021.4.1 採用
支援係長　及川拓郎

2021.4.1 採用
生活支援員　根本将弥

2021.4.1 採用
生活支援員　東　勇貴


2021.4.1 採用
生活支援員　久保田ゆかり



みらいえでは、新たに 5 名の職員が入職しました。職員一丸となって利用者支援、事業の発展に努めて参ります。これからも宜しくお願い致します。

みらいえファームでは、大玉トマト、ミニトマト、なす、ピーマン、ししとうを栽培しています。
採れたて野菜を提供できますので、近くにお越しの際には是非お寄り下さい。

令和３年度、任期満了に伴う評議員並びに役員、評議員選任解任委員が選任されました

＜評議員＞　任期：R3.6.16～R7 定時評議員会

松岡　勝昭	再任	茂木　　靜	再任
高橋　郁子	再任	北平　　保	再任
中谷　通恵	再任	鈴木　靖男	再任
田中　敏郎	再任	西　　幹雄	再任
庭山　　了	再任	星　　貢	再任
塚原　光博	新任	宮澤　　仁	再任
塚見　哲也	新任	有城　雅章	新任
牧野　直樹	新任	煤孫　正美	再任
		飯島　博光	再任

＜役員＞　任期：R3.6.16～R5 定時評議員会

＜評議員選任・解任委員＞　任期：R3.6.16～R7 定時評議員会

森　　豊吉	再任	煤孫　正美	再任
堂前　文男	再任	飯島　博光	再任
		一間　新平	再任

～ご厚志(ご寄付)～ありがとうございました

＊水谷せつ子様　＊笹森　照雄様　＊西脇　正幹様

地域貢献事業（共生型事業所はぁもにぃ）「ご近所野菜市」のお知らせ

家庭菜園で育てた新鮮な野菜や花を持ち寄り、野菜市を行います。出店希望者は１回 100 円で事前申し込みが必要です。尚、天候不順により臨時休業する場合があります。今年は「駅北会場」と「川沿会場」にて行います。

なお、「ほっこり食堂」「子供食堂」「寺子屋事業」他は、新型コロナウイルス感染の自粛状況に併せ実施の検討をしております。

＜駅北会場＞

日時：令和２年８月７日から（毎週土曜日）
10：30～13：00
＊最終は９月 25 日（土）

場所：白老駅北観光インフォメーションセンター

＜川沿会場＞

日時：令和２年８月３日から（毎週火曜日）
13：30～14：00
＊最終は９月 28 日（火）

場所：川沿１丁目 553 番地（はぁもにぃ前）

＜主催者＞社会福祉法人　白老宏友会

＜申し込み＞　担当者　田野島　電話 0144-85-3100

昨年の野菜市の様子

今回のキラリさん!

今回号より法人内のキラリと光る素敵な方をご紹介いたします。今回のキラリさんは・・・
生活介護事業所「みらいえ」大西邦人さんです。
みらいえ farm で農園作業をしながら今年度より、「短期入所かのん」の清掃業務も兼任しています。
大西さんから「キラリ」な一言をいただきました。

私、大西邦人は、 掃除の仕事を始め、３つの事を覚えました。まず、モップは２つあり、普通のと、水をつける水モップがあるという事、そして掃除はすみずみやる事、あと人が触った所を雑巾と洗剤できれいに拭く事を覚えました。これをみんなにも覚えてもらいみんなにも「はぁもにぃ」の掃除をしてもらいたいです。

新規利用者さん紹介（利用開始年月日）

「みらいえ」
＊福澤　和也さん R3.5.10

新任職員紹介（採用年月日）

「あぷろ」
＊高橋ヒトミ（世話人）R3.3.1
＊今須　知美（支援員兼世話人）R3.4.1
＊古俣　克繁（支援員兼世話人）R3.4.1
＊中野貴与美（世話人）R3.4.1
＊竹内千賀子（支援員兼世話人）R3.4.11
＊森田　理恵（世話人）R3.6.1
＊内潟　康子（看護師）R3.7.1
＊土田　幸子（世話人）R3.7.1

「ポプリ」
＊八幡　朋美（作業支援員）R3.1.12
＊草刈　幸枝（生活支援員）R3.4.1

「みらいえ」
＊及川　拓郎（支援係長）R3.4.1
＊根本　将弥（生活支援員）R3.4.1
＊東　　勇貴（生活支援員）R3.4.1
＊久保田ゆかり（生活支援員）R3.4.1

「愛泉園」
＊佐々木由美子（生活支援員）R3.6.16

「かのん」
＊山田　秀美（生活支援員）R3.4.1

…編集後記…

気持ちも新たに令和３年度が始まりました。感染拡大を続けるコロナウイルスに対し、利用者さんと職員が一丸となり防止対策を徹底しソーシャルディスタンスを守り続けている毎日です。話は変わりますが、最近ニュース等で SDGｓや LGBT などアルファベットの略語が多くて、検索しても頭の中に記憶されずに、再検索の日々です。略して便利なこともありますが、相手に伝わらなければ無意味になってしまいます。この「機関紙はぁもにぃ」も読み手の皆様に、利用者さまと職員の姿をそのままお伝えできるよう企画編集に努めたいと思います。

（法人本部事務　中辻千恵）